

COMET

SST-600/900

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも
見られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、コメット SST600/900電源部をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、SSシリーズとSTシリーズ電源部をベースに、より進化させた2回路調光のスタジオ設置タイプの電源部です。ポートレートスタジオから集合スタジオに適した電源部です。

なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえでご活用ください。

付属品	● ACコード	1.5 m	1本
	● IR-R用DCコード	2 m	1本
	● アースコード	0.8 m	1本
	● ヒューズ SST-600	ストロボ用	6 A 1本・4 A 1本
		モデリングランプ用	6 A 1本
	SST-900	ストロボ用	8 A 1本・5 A 1本
		モデリングランプ用	6 A 1本
	● 取扱説明書		
	● 保証書		

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1～4
2. 使用上のご注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6～9
4. 操作手順	10～12
5. 出力モードセレクター	12～13
6. 出力バリエーター	13
7. モデリングバリエーター	14
8. サウンドモードスイッチ	14
9. 不発光警報	15
10. ヒューズ切れ警報とヒューズ交換	15
11. 保証とアフターサービス	16
12. 仕様	17

■ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。

■注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

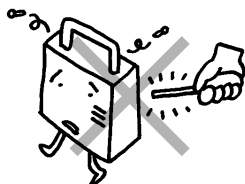


警告



- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

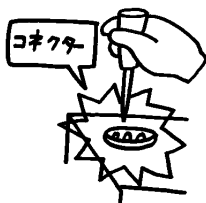
電源部は、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。
また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。
十分注意をしてください。



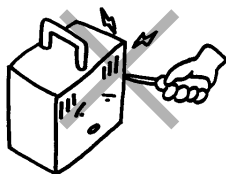
- 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。
漏電による感電の恐れがあります。



- 電源部の出力コネクター金属部には、絶対に触れないでください。
電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



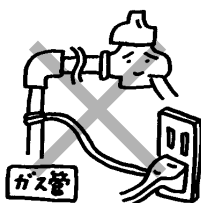
- 電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。
感電、ショートによる発火の恐れがあります。



- 感電防止のため、必ずアース（接地）してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いて行ってください。

アース線は絶対にガス管にはつながないでください。





- 使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



- ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクタに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。

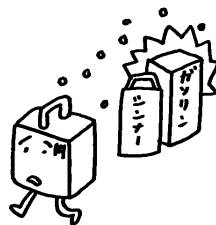


- ヘッドは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。火傷や火災の恐れがあります。



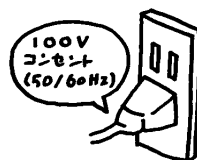
- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。

爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 使用電圧はAC100V (50/60Hz) です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。



- ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。急激に大電流が流れ、スパークによる火傷、発火の恐れがあります。

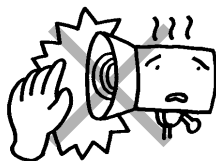


注 意



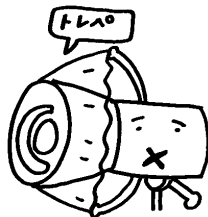
- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。

火傷の恐れがあります。



- ヘッドは、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。

使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



- ヒューズやモデリングランプは指定の定格品を使用してください。

定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



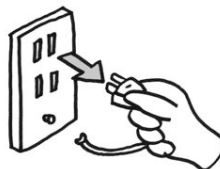
- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。

コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。



- 使用後は安全のために必ずACコードをコンセントから抜き取ってください。

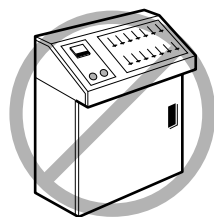


■調光器に接続しての使用はしないでください。本機および調光器を破損する恐れがあります。

■ストロボ電源部は使用しないときでも1カ月に1～2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。

特に3カ月以上の長期にわたって使用しなかったときは、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。

長期間使用にならなかったストロボ電源部は、そのまま発光をくり返すとコンデンサーが発熱して破損することがあります。



■赤外シンクロ装置(当社製)の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。

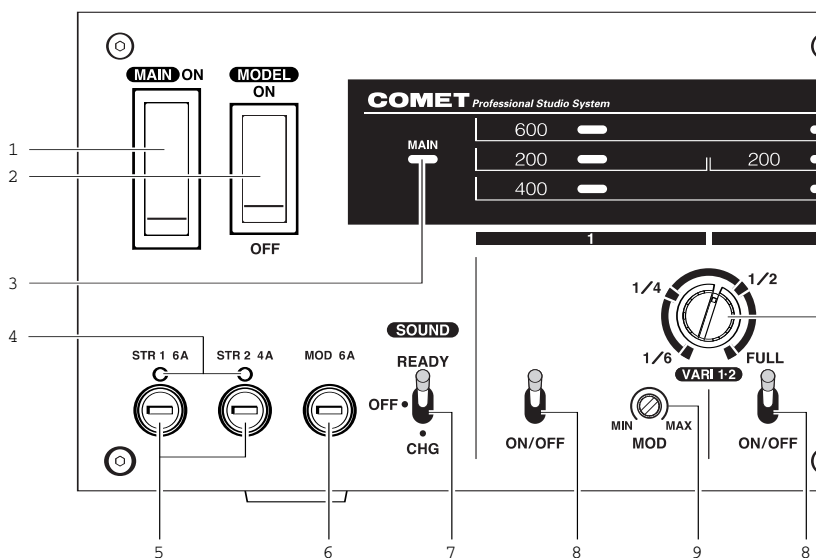
蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

■複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置（当社製）で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。

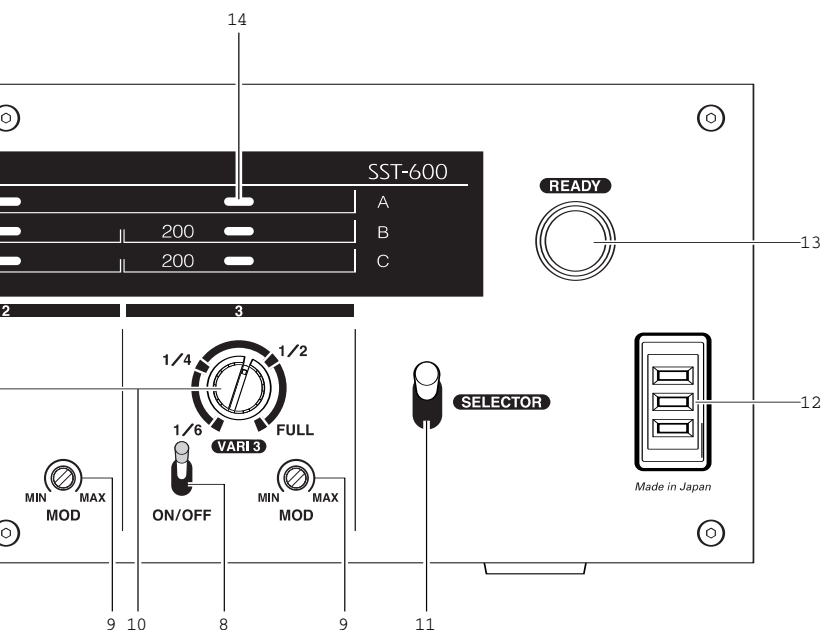
3 各部の名称とはたらき

●ここに示す図はSST-600電源部です。

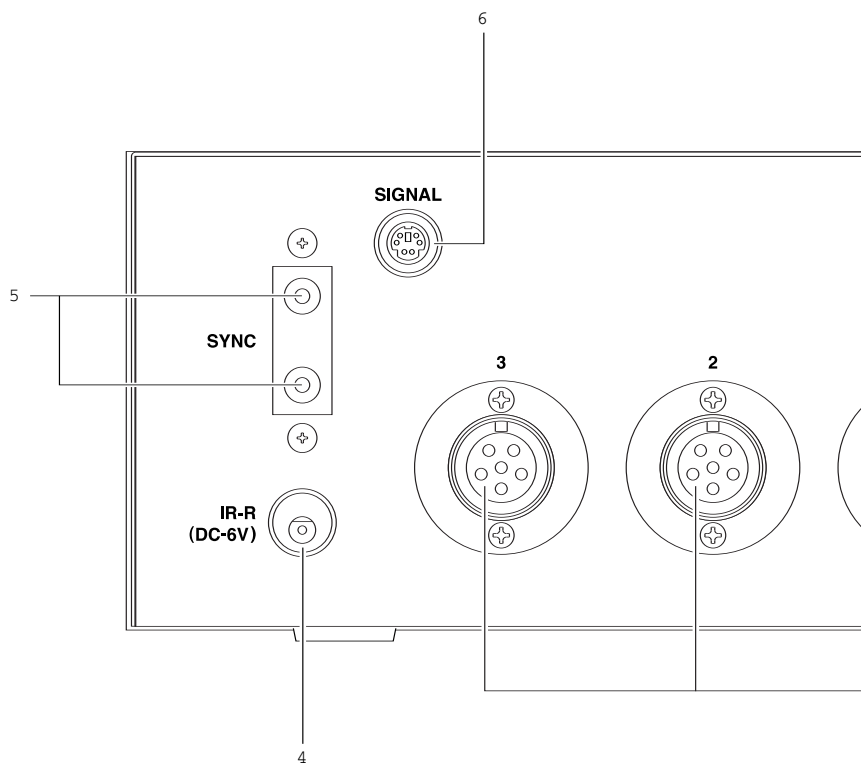
	名称	はたらき	参照頁
1	メインスイッチ (MAIN)	AC電源スイッチです。	10
2	モデリングランプスイッチ (MODEL)	使用しているすべてのモデリングランプを一括で「ON」または「OFF」にします。	11
3	メイン表示ランプ	通電されているとき、点灯します。	10
4	ヒューズ切れ表示ランプ	ストロボヒューズが切れたとき、該当するランプが点灯します。	15
5	ストロボヒューズ (STR1/2)	ストロボ回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	15
6	モデリングランプヒューズ (MOD)	モデリングランプ回路を保護します。ヒューズ定格をお守りください。	15
7	サウンドモードスイッチ (SOUND)	「充電完了音 (READY)」「充電中音 (CHG)」「OFF」を選択します。	14



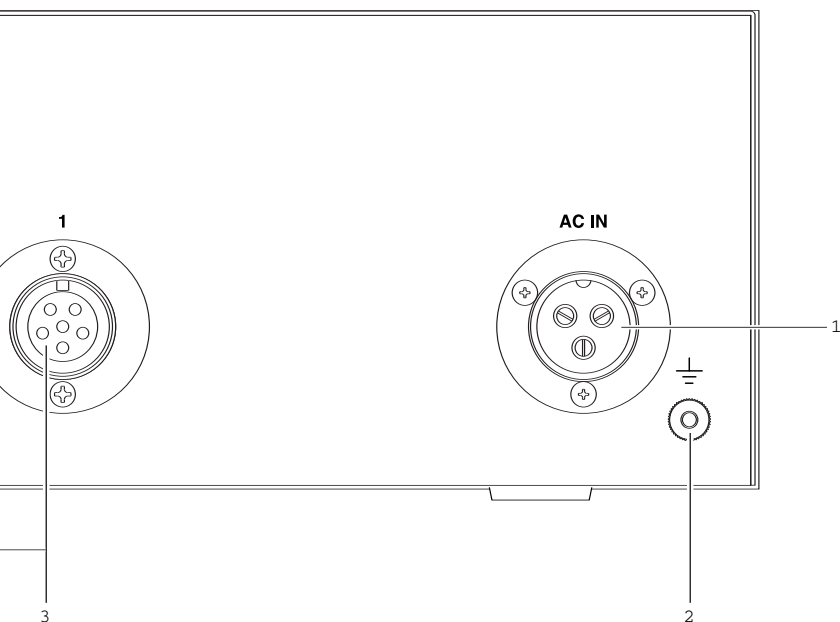
	名称	はたらき	参照頁
8	各灯スイッチ	各出力を「ON」または「OFF」にします。	10
9	モデリングバリエーター	各モデリングランプを最大から最小まで無段階に調光します。	14
10	出力バリエーター(VARI 1・2/3)	出力をFULL～1／6まで無段階に調光します。	13
11	出力モードセレクター (SELECTOR)	出力配分をA, B, Cのいずれかのモードに切り換えます。	12・13
12	シンクロソケット	CXタイプのシンクロコード(別売)でカメラと接続します。	12
13	レディーランプ(READY) ／テスト発光スイッチ	充電が完了すると点灯します。テスト発光をするときはランプ部を軽く押してください。	11
14	出力配分表示ランプ	出力が「ON」のとき点灯します。不発光が生じたときは点滅し、ブザーが鳴ります。	15



	名称	はたらき	参照頁
1	AC入力コネクタ (AC IN)	付属のACコードで電源部とコンセントを接続します。	10
2	接地端子 (アース)	感電を防止するため、必ず接地してください。	
3	出力コネクタ (1~3)	ヘッドを接続します。 着脱時はメインスイッチを「OFF」にして、ACコードを コンセントから抜いてください。	10

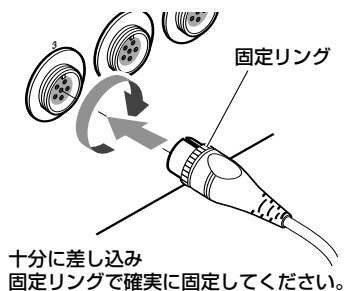


名称	はたらき
4 DC 6 V 出力端子 (IR-R(DC-6V))	赤外シンクロ受信器(当社製)用電源出力端子です。 付属のDCコードで接続します。 赤外シンクロ受信器以外の目的では使用しないでください。
5 シンクロ端子 (SYNC)	電源部間、電源部とSST-SCBを接続します。 また、シンクロを外部に取り出すときに使用します。
6 シグナルコネクター (SIGNAL)	SST-SCBを使用するとき、シグナルコードで本機と接続 します。



■ 1. ヘッドコードを電源部に接続します

使用するヘッドのコネクターを電源部の出力コネクターに十分に差し込み、固定リングで確実に固定します。



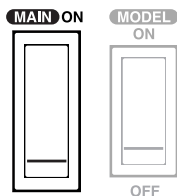
■ 2. ACコードを接続します

ACコードをACコネクターへ接続します。十分に差し込み、固定リングで確実に固定します。電源部のメインスイッチが「OFF」になっているのを確かめてから、ACコンセントに接続します。

●必ずアースの接続をしてご使用ください。

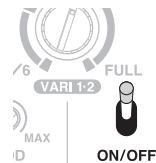
■ 3. メインスイッチを「ON」にします

メインスイッチ (MAIN) を「ON」にします。
メイン表示ランプが点灯し、充電が開始します。



■ 4. 各灯スイッチを「ON」にします

使用するヘッドの各灯スイッチを「ON」にします。
出力配分表示ランプが点灯します。



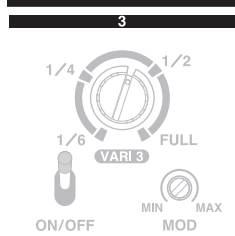
【ご注意】

● SST - SCBを接続しているときは、本機との間を専用のシグナルコードで接続する必要があります。接続についてはSST - SCBの取扱説明書をご参照ください。

■ 5. 出力モードを選択します

出力モードセクターで、3つの出力モードの中から、その撮影に適した出力モードを選択します。

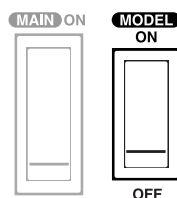
●詳細は12ページをご参照ください。



■ 6. モデリングランプスイッチを「ON」にします

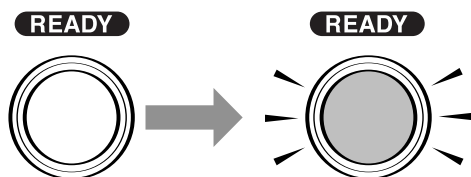
モデリングランプスイッチ (MODEL) を「ON」にします。

モデリングランプの明るさは、モデリングバリエーターで各灯をMAX (100%点灯) からMINまで調光します。



■ 7. 充電の完了

充電が完了するとレディーランプ (READY) / テスト発光スイッチが点灯して発光準備が完了します。



ランプ点灯で充電完了

■ 8. テスト発光をします

レディーランプ (READY) / テスト発光スイッチを軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確かめてください。

4 操作手順

■ 9. カメラとのシンクロを確認します

シンクロコード（別売）でカメラと接続し、シンクロ発光テストをします。

●本番撮影をされる前に実際のフィルム、もしくはインスタントフィルム等で、カメラのシンクロ（同調）テストをされることをお勧めします。

【ご注意】

- カメラ、またはレンズにM/X接点があるときは、必ずX接点を使用してください。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を1/60～1/30で使用してください。
- カメラによっては、シンクロ接点に極性のあるものがあります。このときはシンクロコードプラグを逆に差し込み、使用してください。

5 出力モードセレクト

本機には、3種類の出力モードがあります。ライティングにもっとも適したモードを出力モードセレクトで選んでご使用ください。

■ モード A

モード「A」を選択すると、出力コネクター1・2・3へ均等にストロボ出力が配分されます。ヘッドを複数使用した場合の各ヘッドの出力は、出力バリエーター（VARI 1・2）と出力バリエーター（VARI 3）でセットした合計出力値をヘッドの数で割った値となります。

■ モード B

モード「B」を選択すると、出力コネクター1・2・3が3ブロックに分かれて1：1：1の比率でストロボ出力が配分されます。

■ モード C

モード「C」を選択すると、出力コネクター 1・2 と 3 の 2 ブロックに分かれて 2 : 1 の比率でストロボ出力が配分されます。

● モードによる出力配分（最大出力）

コネクター	SST-600			SST-900		
	1	2	3	1	2	3
モード A	600			900		
モード B	200	200	200	300	300	300
モード C	400		200	600		300

単位=Ws

6 出力バリエーター

出力バリエーターは、出力モードで設定された出力をFULLから、1/6 まで無段階に調光します。

出力バリエーター（VARI 1・2）はコネクター 1 と 2 の出力を、
出力バリエーター（VARI 3）はコネクター 3 の出力をコントロールします。出力モードAのときは、2つの出力バリエータの合計のストロボ出力になります。



1. 出力バリエーターを下げたとき

本機は電圧調光方式を採用しています。このため出力バリエーターを下げてても内部のメインコンデンサーに蓄められている電気エネルギーは、直ちに新たな設定出力値までは下がりません。

このときは一度発光させてください。充電が完了すると新たな出力値に設定されます。

2. 出力バリエーターを上げたとき

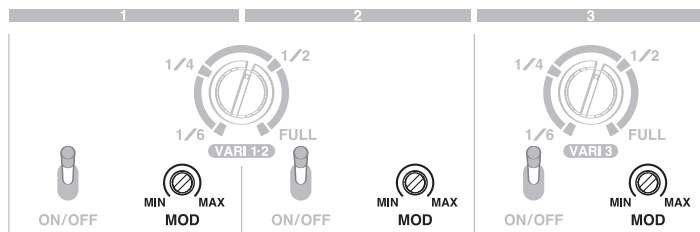
設定された出力値まで自動的に充電が行われますので、発光操作は必要ありません。

このときはレディーランプがいったん消灯し、充電が完了すると再点灯します。

7 モデリングバリエーター

モデリングバリエーター (MOD) は、使用している各ヘッドのモデリングランプを、100%点灯から1/6の明るさまでを無段階で調光します。

モデリングバリエーターはストロボ出力とは関係なく、単独で調光されます。



8 サウンドモードスイッチ

充電状況をサウンドで知らせます。

■ READY

充電が完了したときにブザーが鳴り、レディランプが点灯します。

■ CHG

充電中に断続音のブザーが鳴り、充電が完了するとブザーが止まり、レディランプが点灯します。

■ OFF

充電状況を確認するためのブザー音を止めます。

● 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。



発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき、ブザーが鳴り、該当する出力配分表示ランプが点滅して、どの出力コネクタに接続されたヘッドに不発光が生じたかを知らせます。充電完了前に発光操作を行ったときは、発光せず該当する出力配分表示ランプが点滅します。

● 警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

■ 警報の解除

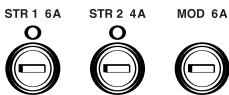
不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すると解除されます。また、メインスイッチ (MAIN) をいったん「OFF」にすることも解除できます。

10 ヒューズ切れ警報とヒューズ交換

ストロボヒューズ (STR 1・2) が切れたときは該当するヒューズ切れ表示ランプが点灯します。モデリングランプヒューズが切れたときの警報は出ません。

ヒューズ交換はメインスイッチ (MAIN) を「OFF」にし、必ずACプラグをコンセントから抜いて行ってください。

該当するヒューズホルダーの蓋をドライバーで外し、断線したヒューズと同じ定格のヒューズと交換してください。



	SST-600	SST-900
STR 1	6 A	8 A
STR 2	4 A	5 A
MOD	6 A	6 A

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメント製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のシンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

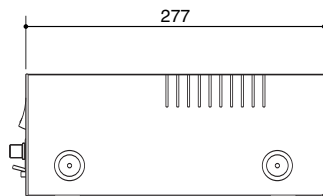
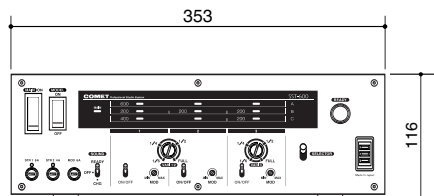
■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となるときがありますので大切に保管してください。

品 名		SST-600電源部			SST-900 電源部		
型 式		S S T - 6 0 0			S S T - 9 0 0		
定 格 電 圧		A C 1 0 0 V ± 1 0 % 5 0 / 6 0 H z					
ヒューズ定格		ストロボ 6 A 1本・4 A 1本			ストロボ 8 A 1本・5 A 1本		
		モデリングランプ 6 A 1本					
最 大 出 力		6 0 0 W s			9 0 0 W s		
充 電 時 間		2.9秒					
出 力 灯 数		3 (Sタイプコネクター)					
ストロボ コネクター 出力モード (Ws)	①	②	③		①	②	③
	600				900		
	200	200	200		300	300	300
	400		200		600		300
各灯スイッチ		ストロボ、モデリングランプをON／OFF					
ストロボ調光方式		無段階電圧調光（①② 及び ③ の2回路調光）					
調 光 範 囲		FULL～1/6 無段階調光					
出 力 表 示		パネル目盛方式					
モデリングランプスイッチ		全灯一括ON／OFF					
モデリングランプ定格		600Wまで					
モデリング調光		3回路独立 無段階調光 (MAX～MIN)					
シンクロソケット		フロントパネル・3 P B F X1 / リアパネル・ピンジャックX2					
リモートシンクロ		な し					
シンクロ電圧		D C 12V					
IR-R専用DC端子		D C 6V					
サウンドモード		充電完了音（READY）／充電中音（CHG）／OFF					
不 発 光 警 報		該当する出力配分表示ランプ点滅とブザー連続音					
ヒューズ切れ警報		該当するヒューズ部ランプが点灯（ストロボヒューズのみ）					
寸 法		353 (w) x 116 (h) x 277 (d) mm（ゴム足含む）					
重 量		5.82 kg			6.38 kg		



単位 mm

- 本仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
 なお、この仕様は2001年4月現在のものです。

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- スイッチを入れても所定の時間で充電しない
- 通電中に異音、異臭、あるいは発煙する
- ヒューズがすぐ切れる
- ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感ずる
- その他の異常や故障があるとき

このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。

- ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。

取扱説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

- 上記のような症状がなくても1年に1～2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

本社	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL.(03)3264-8621	FAX.(03)3264-8624
札幌営業所	〒064-0805	札幌市中央区南5条西12丁目	TEL.(011)561-2488	FAX.(011)563-2620
仙台営業所	〒981-8003	仙台市泉区南光台 4-29-25 サンエイハイム101	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所 営業課	〒135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
東京営業所 コマーシャル課	〒135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
東京営業所 デジタルマジック	〒135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
名古屋営業所	〒461-0044	名古屋市中区江波西 1-7-16 リラハイツ	TEL.(052)719-0155	FAX.(052)712-3077
大阪営業所 営業課	〒550-0015	大阪市西区南堀江 2-9-22	TEL.(06)6536-0671	FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 コマーシャル課	〒550-0015	大阪市西区南堀江 2-9-22	TEL.(06)6536-1667	FAX.(06)6536-4020
広島営業所	〒730-0831	広島市中区江波西 1-7-16 リラハイツ	TEL.(082)293-0075	FAX.(082)293-0076
高松営業所	〒761-8032	高松市鶴市町 1035-7	TEL.(087)881-9344	FAX.(087)881-9342
福岡営業所	〒812-0042	福岡市博多区豊 2-1-4	TEL.(092)411-1202	FAX.(092)411-1209
福岡営業所 コマーシャル課	〒812-0042	福岡市博多区豊 2-1-4	TEL.(092)411-1254	FAX.(092)411-1209
一級建築士事務所	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL.(03)3264-8623	FAX.(03)3264-9906
海外事業部	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL.(03)3264-8692	FAX.(03)3264-6385
ストロボクリニック部 本部	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL.(03)3234-5081	FAX.(03)3234-1356